

岩津ねぎだより

号外

令和5年8月17日
岩津ねぎ産地協議会
生産支援チーム

台風7号の通過に伴い、多くのほ場で湛水による根傷み、葉折れや倒伏などの被害が発生しています。天候の回復後、下記の作業を実施し、ねぎの回復を図りましょう。

1 排水対策の実施

今回の台風による降雨の影響で、植溝や谷に水が停滞している場合は酸欠により根傷みの原因となりますので、速やかに排水を行ってください。

また、今後も台風や秋雨前線の影響から大雨が懸念されますので、ほ場内に明きよを設置して排水口に雨水が流れ出るように排水対策を徹底しましょう。



写真1 湛水したほ場

2 葉折れや倒伏が見られる場合

葉折れが見られる場合は、無理に葉は触らず、生育の回復を待ちましょう。

ねぎの生育が進んでおり、襟首より下が倒れている場合は、軟白部分が曲がらないように株起こしの作業を実施します。株元に土を寄せて土手をつくり、倒伏した株を丁寧に手で起こします。

3 病害の発生予防のための薬剤防除の実施

倒伏や葉折れにより、ねぎが病気にかかりやすい状態です。細菌性病害（軟腐病）の予防のため、下記を参考に防除を行いましょう。葉や株元に十分にかかるように丁寧に散布します。

<農薬の使用基準表>

(JPPNET 最新登録日 2023年8月8日で確認)

薬剤名	適用病害虫	希釈倍率	散布液量	使用時期	使用回数
Zボルドー	軟腐病、べと病	500倍	100～300L/10a	-	-
ヨネポン水和剤	黒斑病、さび病、軟腐病、べと病	500倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	4回以内

※ 農薬はラベルの使用基準・注意書をよく読んでご使用ください。

4 その他

9月に入り気温が低下してきたら、生育状況を見ながら土寄せ・追肥を行いましょう。土寄せにより、今後の台風等によるねぎの倒伏の被害が軽減できます。

<問合せ窓口>

和田山営農生活センター：672-4800 山東営農生活センター：670-7744
朝来営農生活センター：670-4341 朝来農業改良普及センター：672-6886